

## 令和5年度 第4回鍋小学校 学校運営協議会記録

○ 日 時 令和6年3月7日（木） 午後2時～4時30分

○ 場 所 校長室

参加者 役職名 氏名

鍋小学校地域学校協働活動推進員、鍋支館長 前田敦子

鍋支館事務局 西 秀隆

鍋小学校PTA会長 西山和彦、PTA生活委員長 鶴岡麻須未

鍋小校区区長会長 杉本敏男

元鍋小学校学校評議員 橋本 直 、鍋保育所園長 栗野信子

校長 猿渡博実 、教頭 志賀 寛

### 1 授業参観

### 2 開会

### 3 校長あいさつ

後期は、20年ぶりに復活できた松原海岸での地引網体験、5年生の集団宿泊教室、6年生の修学旅行、4年生の介護老人保健施設「幸」への訪問と施設の方々との交流等子どもたちの頑張りがたくさん見られました。3年生の「まじゃくつり」では、漁協の協力を得るために地域学校協働活動の前田さんに本当にお世話になりました。

この学校運営協議会は、学校運営の円滑な遂行を図るうえで大きな支えとなりました。

### 4 会長挨拶

学校運営協議会は、地域、学校、保護者それぞれの立場で課題を出し合い、校長先生の学校運営方針に沿って課題の改善や解消に向けた協議をする場です。その際、地域学校協働活動推進員の前田さんと連携して課題解決に取り組んでいくことが求められます。少しでも子どもたちを取り巻く環境がより良いものになりますように活発な議論をよろしくお願いします。

### 5 日程説明

### 6 学校の状況説明

(1) 学校評価（後期）から

(2) 心のアンケートから

(3) 質疑応答（○…質疑及び感想、◇…応答）

○ 子どもたちの挨拶について、前期よりポイントが下がったのはどのようなことが原因と思われるか？

◇（学校）子どもたちの登下校の挨拶については、子どもたちが自らの意思で自発的に挨拶をするような姿を目指してきた。その手立てとして、登校班長が班員の挨拶の様子を見たり、登校班で校門でのあいさつ運動に立ってみたりすることによって、課題を感じて挨拶向上に取り組んでいく姿を期待しながら指導してきたが、まだ十

分な成果としては表れていない。子どもたちの挨拶が、やらされて形式的なもので終わらないように指導を工夫していきたい。

○（地域）地域の中でも子どもたちの挨拶が向上するように働きかけていきたい。

○「心のアンケート」結果分析から「いじめ」の問題について…加害の側にいる子どもは、自分が相手を傷つけているという自覚はあるのだろうか？

◇ 学校では、さまざまな場面で機会をとらながら、いじめや差別が許されないことを指導してきた。また未然防止という側面から、仲間づくりの取組（心ほぐしタイムの集団作りゲーム等）や委員会活動を通して自主的・主体的な取組を仕組み、その成果を味わわせることにも力を入れてきた。子どもたちの自尊感情・自己有用感（自分は自分らしくあっていい、自分は誰かの役に立っている、だれかに喜ばれる存在だ）を育むことが子どもたちの心の成長につながると考える。今後子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように努めていく。

○（保護者）友達との間では迷惑をかけたり、かけられたりいろいろトラブルはあるが、先生方は子どもたちからよく話を聴いて迅速でいねいに対応していただいているので安心している。

## 7 学校運営協議会員による学校教育評価

## 8 協 議

### （1）学校・地域・家庭の課題及び課題改善策について

- クリーン登校、美化作業、花植え等、区長さん方が協力的で助かった。新年度は6区すべての区長さんが替わるので、区の総会等で「地域で子どもを育てること」や地域学校協働活動の様子を伝えて欲しい。
- 梅雨時は通学路の草が伸びて子どもたちの安全な通学に心配がある。できれば、除草作業をこれまでやってきた運動会前と夏休み終わりの他に6月中旬ころにもう1回実施できないものかと考える。
- （保護者）下沖洲は毎年、子どもたちの通学路の草取りをもう1回（年3回）行っている。
- （地域）立山区も3回通学路の草刈りを実施した。
- 保育園でも2回実施していただいた。
- 通学路の草刈り等で負担が大きい地区には他の区からの応援をできないか、学校運営協議会でも協議していく。
- どんどやを4年ぶりに開催できた。どんどやは地域とPTAの共催だということだったが、実際はPTA色がかなり強かった。もう少し地域からの応援があればと感じた。
- 準備の段階からPTAと地域で協議していく必要がある。

### （2）令和6年度学校教育グランドデザインについて（校長先生）

（詳細は別添HP内資料参照）

次年度も地域と一体となって、子どもたちの教育に取り組んでいきたい。子どもたちには、「主体性」「コミュニケーション力」「共感性」を特に育てたい資質や能力としてあげている。以下は現在考えている具体的な取り組みの一例である。

- 春の遠足先を千人塚向かいの公園にして、千人塚について地域の方に子どもたちに向けた講話等をしていただく場を設けたいと考えている。そのような取り組みを通して、子どもたちの地域への愛着が少しずつ深まっていけばと考える。その他、4年生の介護老人保健施設「幸」への訪問も継続していきたい。
- また、「しおまちパーク（松原海岸）」の潮湯内の休憩スペースをギャラリー化して、子どもたちの作品を展示して来訪者の方々に楽しんでいただく計画も進めている。また、PTAの学年活動等でも「しおまちパーク」を利用できるように管理者の方と話を進めている。
- 「地引網体験」は、来年度は6月29日（土）に計画している。

(3) 来年度の年間教育活動計画（教頭先生） （別添HP内資料参照）

- PTA 美化作業（5/12、8/25）、マジック釣り体験（5/16）、運動会（5/26）、
- 全校花植え（6/21）、地引網体験（6/29）
- スクールボランティア総会（7/5）
- 学校運営協議会（6/11、8/23、10/30、3/5）
- 日課表の変更（別紙）

9 玉名市教育委員会より…学校規模・配置適正化基本計画について（説明）

10 まとめ

今年度は、主にPTA作業への地域の応援や子どもたちの地引網体験、子ども主体の体験活動の在り方などについて協議してきました。「子どもたちをお客さんにしない」…子どもたちがやらされるのではなくやりたいという思いをもって学習や体験活動等に取り組み、「自分たちのやっていることが誰かに喜ばれる。誰かの役に立っている」という自己有用感を味わわせたいと学校もこの運営協議会でも議論してきました。校長先生の思いがさらに具現化していきますように来年度も頑張りたいと思います。年度末で役職を降りられる方はその経緯を後任の方に引きついでいただきますようお願いいたします。

11 閉会

12 次回は、令和6年6月11日（火）

- 学校運営の基本方針について
- 令和6年度の活動（協議内容）について
- その他
  - ・ 通学路等の除草作業について
  - ・ どんどやの準備について